

# 競技注意事項

## I. 規則について

本大会は2020年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項・競技注意事項により実施する。

## II. 練習について

### 1. 密集・密接の回避

ウォーミングアップ及び練習は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、個別に行うこと。

### 2. 競技前練習について

- ① 役員の指示に従い安全に留意すること。
- ② 競技場裏の走路も使用可能とする。
- ③ 開門 7:30 から 8:15 までは、競技場の使用を認める。
- ④ 開門及び閉門は以下の時刻とする。 開門 7:00 閉門 17:00

### 3. 投てきの練習について

- ① 公式練習については、投てき審判の指示に従い、競技開始前に行うこと。
- ② 助走練習、投てき練習時には、ソーシャルディスタンスを確保するために、競技役員が1人ずつ順番に呼び出す。

### 4. 補助競技場(サブトラック)の使用について

- ① 競技時間に合わせて使用すること。
- ② 使用はリストバンド又はナンバーカード装着者のみが使用することができる。

## III. 競技場使用上の注意

1. 更衣室の利用は短時間で使用すること。シャワールームは使用を禁止する。
2. 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、声を出しての応援、長距離種目のタイム読みは固く禁止する。
3. 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、審判・補助員、参加申請した指導者・コーチ・付添保護者以外のメインスタンドへの立ち入りを禁止する。
4. 大会当日中の団体ごとの場所取りは厳禁とする。  
ホームスタンドとバックスタンドは、個人の待機場所として使用を認めるが、他の競技者との距離を十分確保すること。
5. 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、競技者は、競技時間に合わせて競技場に立ち入り、競技終了次第帰ること。競技場退出時には、すべての持参物を持ち帰ること。
6. 開門前、閉門後に許可なく競技場内、スタンド内に侵入している競技者を発見した場合、厳重に注意し、その競技者の以降の出場を認めない場合がある。
7. 競技場は全天候型ウレタン舗装であるため、使用するピンの長さは、トラックについては7mm以下、フィールドについては9mm以下とする。
8. 当該競技の出場者以外はトラック・フィールド内に立ち入ってはならない。注意に従わない競技者は、退場や競技の出場を認めない場合がある。
9. 競技場内において競技者は助力とみなされるビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD・MDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれに類似するものの使用・所持を禁止する。勧告を受け入れられない場合は失格となる。なお、その他競技者に対する助力については競技規則第144条を適用する。

10. 医務室は競技場内に設ける。なお、大会期間中において起こった怪我に対しては主催者側が応急手当を行うが、それ以降の治療に関しては一切責任を負わない。ただし、出場者は原則として、スポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。なお、新型コロナウイルス感染症はスポーツ安全保険の適用対象外である。
11. スパイクで競技場建物内の通路を通行することを禁止する。
12. 貴重品の管理は各個人で責任を持って行うこと。盗難・紛失について主催者は一切責任を負わない。拾得物があった場合は、上尾運動公園陸上競技場にて一時保管をする。
13. ゴミは各個人が責任を持って持ち帰ること。
14. 競技場内でのすべての電源の使用を禁止する。
15. 開閉門時間は2.④の通りである。ただし、予告なく変更する場合がある。また、下記の記載の開門時間より早く競技場内には立ち入らないこと。  
※本大会のみに出場する競技者は競技終了後、速やかに帰ること。

#### IV. 招集について

1. 招集の方法について
  - ① 招集所は、**Gate11 競技場外側**に設置する。
  - ② 競技者は出場種目の招集開始時刻になり次第、招集所でシューズ、スパイク、ナンバーの確認を受けること。
  - ③ スタート地点までの移動は役員の案内に従うこと。
  - ④ スタート地点到着後に、各競技現地で最終コールを行う。
2. 代理人による招集は認めない。
3. 招集完了時刻に遅れた競技者は出場を認めないので十分に注意すること。
4. 招集時間は競技日程を参照すること。

#### V. ナンバーカードについて

1. ナンバーカードは上尾市陸上競技協会秋季記録会の登録ナンバーカードを着用すること。
2. ナンバーカードはユニフォームの胸と背に確実につけること。ナンバーカードの折曲げは禁止する。
3. トラック競技は写真判定機を使用するため、トラック競技者は主催者の用意する腰ナンバーカードを右腰やや後方に、数字が見えるようにつけること。ただし、腰ナンバーカードは使い捨てのものを使用する。そのため、フィニッシュ後、係員に返却する必要はない。※第143条7・8・9項を参照のこと。

#### VI. 競技の抽選・番組編成について

1. トラック競技については、原則としてタイム順に組分けをする。
2. 写真判定機故障の場合、その種目の当該ラウンドを全組、手動計時に変更する場合がある。

#### VII. トラック種目について

1. 不正スタートに関しては、競技規則「第162条7」の適用により失格とする。ただし、小学生は旧規則を適用する。
2. スタートの合図は『On your marks』『Set』で行う。800メートル以上の種目は『Set』を省略して信号器発射をする。

3. 小学生種目に限り、スターティング・ブロックの未使用とスタンディング・ポジション(立位)によるスタートを認める。
4. 短距離種目では競技者の安全のため、フィニッシュ後も自分のレーンを走ること。
5. フィニッシュした選手は役員の指示に従って選手出発控所に戻る。

## VIII. フィールド種目について

1. 走幅跳は2ピットで競技を行う。

## IX. 用器具について

1. 用器具はすべて競技場備え付けのものを使用する。さらに、やり検定を受けて合格したものは、個人のもので使用してよい。各自が持ち込んだやりについては、その他の競技者にも使用させなければならない。持参したやりは、競技当日の招集開始時刻から招集完了時刻までに大会本部横の用器具倉庫にて検査を行う。ただし、使用の際の破損などによる事故発生の場合、使用した当該競技者が責任を負うものとする。この場合、主催者はその責任を負わない。
2. 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、滑り止め(炭酸マグネシウム)については、共有しない方法で実施する。そのため、主催者は、滑り止め(炭酸マグネシウム)を用意しない。競技者は必要に応じて必ず滑り止め(炭酸マグネシウム)を持参し、使用すること。なお、松ヤニの使用は禁止する。

## X. 抗議について

1. 抗議は日本陸上競技連盟競技規則の第146条に基づき、アナウンスで正式に結果が発表されてから30分以内に、競技者自身または代理人が口頭で審判長に申し出なければならない。
2. 審判長の裁定不服の場合には、その競技者に代わる責任者より上訴申立書と預託金(¥10,000)を添えて、正式な手続きをとること。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合、没収される。

## XI. 各書類提出先について

1. 競技場内第5集会室(要預託金) 記録情報処理係に提出すること。

## XII. その他

1. 表彰式は行わないので、各種目で1位から3位までに入賞した選手は、競技場内第2集会室 大会本部まで受取りにくること。
2. 記録証明書を希望する競技者は、400円を添えて競技場内第5集会室記録情報処理係までに申し出ること。
3. 競技場内での写真、ビデオの撮影については選手のプライバシー及び肖像権を保護するため大会関係者及び主催者に許可された者以外の撮影は禁止する。盗撮防止のため、大会役員が声をかけることがあるが、その場合は速やかに許可証を提示すること。また、許可なく撮影している者を発見し次第、厳重に処分する。
4. 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、練習及び招集、競技中など本大会に関わるすべての行為について、競技者への付き添いを禁止する。
5. 競技結果等は記録処理終了後に随時、記録掲示を行う。

6. 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を厳守し、個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の参加審査、プログラム編成および作成、記録公表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

## (別記) 競技注意事項 参加団体の皆様へのお願い

本年度は大会要項でお示した通り、新型コロナウイルス感染予防対策に則り、競技会を運営していくことを了承の上、大会にご参加ください。

なお、新型コロナウイルスの感染防止対策には万全を期しますが万が一、感染してしまったとしても、主催者は責任を負うことができませんのでご了承ください。

陸上競技大会再開のガイダンス説明【埼玉陸協】に加え、以下の留意点につきまして遵守していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

### I. 体調管理について

1. 大会への参加について各団体は、参加者全員(審判補助員、競技者、参加申請した指導者・コーチ)に大会前と大会後の健康チェックシートを記入させ、体調の把握をしてください。なお、体調不良者は競技会に参加させず、競技場にも来場させないでください。
2. 競技会参加の受付時に、各団体は「宣誓書」または大会主催者が用意した「競技会参加のための健康チェックシート【提出用】」を、選手受付に提出してください。  
提出がない場合は、競技会への参加を認めません。
3. 競技会参加のための健康チェックシート大会前【保管用】について各団体は、1週間分の「競技会参加のための健康チェックシート大会前【保管用】」を作成、収集し、本協会が提出を求めた場合には、遅滞なく提出できるようにしてください。なお、最後に記入した日から最低1カ月間は各団体で保管してください。
4. 競技会参加のための健康チェックシート大会後【保管用】について競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合、保健所、主催者へ報告するようお願いいたします。  
なお、2週間分の「競技会参加のための健康チェックシート大会後【保管用】」に各自記入し、最後に記入した日から最低1カ月保管してください。

### II. 参加者が競技を行う際の留意点

1. 基本的注意事項
  - ① 招集所では他の競技者とのソーシャルディスタンスを確保し、マスクを着用して招集を受けること。
  - ② 競技場内外を問わず、唾や痰を吐く行為は行わないこと。
  - ③ タオルの共用はせず各自で持参すること。
  - ④ 待機場所では、周囲の人とソーシャルディスタンスを確保し大声で会話をしないこと。
  - ⑤ 競技中などに競技者が倒れた場合は直接触れることをせず、医務室や大会本部へ連絡すること。ただし、緊急を要する場合は、その限りではない。
2. トラック競技
  - ① レース中はマスクを着ける必要はないが、招集中・移動中・待機中は着用すること。なお、マスク着用による熱中症にも注意をすること。
  - ② レース終了後の手洗い、洗顔等を徹底すること。
  - ③ スターティング・ブロックを使う種目に出場する選手は、スタート前の待機中に競技役員によるアルコール手指消毒を受けること。

### 3. フィールド競技

- ① 待機場所における競技者同士のソーシャルディスタンスを確保すること。
- ② 投てき器具については共用となるので、使用後は手指消毒を徹底すること。また、競技中に不用意に手で顔を触らないよう注意すること。
- ③ 競技終了後には入念な手洗いや手指消毒を行うこと。
- ④ 助走練習、投てき練習時には、ソーシャルディスタンスを確保するために競技役員が1人ずつ順番に呼び出すので、その指示に従うこと。
- ⑤ 競技者同士の会話は原則として禁止する。試技以外の待機中は、必ずマスクを着用すること。なお、マスク着用による熱中症にも注意をすること。

## II. その他の留意点

### 1. マスク等の準備

- ① 入場時に競技会参加者がマスクを準備しているか確認する。入場時にマスクを着用していない者は、競技場内への入場を許可しないので注意すること。
- ② 参加者が、運動・スポーツを行っていない間、特に会話するときには、マスクの着用すること。

### 2. 手洗いの実施

- ① 手洗いは、30秒以上行うこと。石鹸は競技場にも準備する。
- ② 手をふくためのタオル等を共用しないこと。
- ③ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を使用しこまめに消毒すること。競技場にも準備するが、できるだけ各自で持参すること。

### 3. 洗面所(トイレ)の使用

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー)を使用した場合は、こまめに手洗いをすること。
- ② トイレの便器に蓋がある場合は、必ず蓋を閉めて汚物を流すようすること。
- ③ 手洗いは、石鹸等を使用し30秒以上行うようにすること。
- ④ 手を拭くタオル等は各自で準備すること。

### 4. その他

- ① 公共交通機関等の移動においても3密の回避など感染予防を徹底すること。
- ② 競技場への立ち入りについては、「競技場立入制限」を厳守すること。
- ③ コーチがコーチングエリアから競技者に向かって話す際は、マスク着用の上、会話するようにすること。
- ④ 競技会へ出場する選手のみの参加とするため、応援、付き添いのためだけの者は来場させないこと。なお、集団での場所取りや声を出しての応援は固く禁止する。

